

大切な 甲賀市の自然 ⑬

甲賀市内にすむ
絶滅が心配される動植物や
それらを育む大切な
自然についての連載です

ベニイトトンボが飛び
コウホネの咲く池

昨年夏、甲賀市内の小さな池で、ベニイトトンボが発見されました。その名の通り、雄が紅色をした美しいイトトンボで、全国的に減少したため、環境省の絶滅危惧Ⅱ類、滋賀県の絶滅危惧種に指定されています。県内では11年ぶりの発見で、すでに絶滅したとも考えられていました。

では、このトンボが、なぜ甲賀に見つかったのでしょうか。それは、水草の繁った昔ながらの環境の池が、付近の農地と一緒にずっと保たれてきたからだと思います。ベニイトトンボは特に環境の変化や違いに敏感で、他のトンボが多く見られる池でも、必ずしも見られると限りません。全国の生息地の例を見ても、歴史のある古い池や、貴重な水生植物があり保護指定を受けるような池があげられます。

今回、発見された場所は、小さなため池でしたが、同時に絶滅危惧の水草のコウホネや、魚のカワバタモロコが見られ、池の環境が非常に貴重なことが示されました。

本当に自然の豊かな水辺には、古寺の庭園の様な丸みを帯びた美しさがあります。コンクリート護岸の池に見られない、大切な自然です。

▶水草の繁る池と
コウホネの花



▶ベニイトトンボの
交尾(上が雄)

8月の
休園日

6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)

みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

甲賀市文化協会連合会 文芸欄

今回は甲南町文化協会からお寄せいただきました。

鹿深句会

- ・ 咲き満ちて花散る刹那眩しめり 村上しげとし
- ・ 夜は夜の風情をもちし水中花 寺井 昭一
- ・ 春愁やくずれるままの角砂糖 吉永ひろし
- ・ 畑打って一人の空の広さかな 八里 秀子
- ・ 花後並んで浄土の旅ゆかん 立岡 由子
- ・ 住み古りて春灯もるる雨戸かな 藪井ハル子
- ・ 誰か死ぬかもしれない夜の水中花 西浦敬之助
- ・ 母そこに居るかもしれぬ春障子 田中美由紀
- ・ 爛漫の花もて飾る湖の奥 中川杜氏圃
- ・ 土足嚴禁木札横転春疾風 吉福さとし

かたつむり俳壇

- ・ 愛犬も家族頭する子供の日 八里 秀子
- ・ 青年の太き腕に夏来たる 田中みつを
- ・ 少年の口笛流る谷若葉 田中美由紀
- ・ 故郷は卵の花腐し萱の家 山根 弘之
- ・ ふくよかに城山包む若葉かな 柄川由紀子
- ・ 梵鐘の響く卵の花腐しかな 松井 まつ
- ・ 山々に若葉繁りて絵となりぬ 木村 テル
- ・ 咲ききつてこぼるるを待つ牡丹かな 井上マズエ
- ・ 鶯の声が日暮れを引き伸ばす 藤田 啓子
- ・ 腕白の駆け抜けてゆく子供の日 土田 衣章
- ・ 樟若葉鳳祥の塔はばたかす 吉福さとし

草笛句会

- ・ 春光や散歩の犬も顔なじみ 藤田じょう
- ・ 山法師不動明王静まりぬ 八里 秀子
- ・ 水の面日の斑ゆらぎて花あやめ 仁木 鈴江
- ・ 青葉風四方を向きたる無縁佛 西村 幸子
- ・ 走り根の幹より太き日蔭かな 久次米昌子
- ・ 老鶯に耳そばだてて馬頭尊 福井えきの
- ・ 風青き山寺の鐘柵引きて 小山 君枝
- ・ 木洩れ日の斑の影や著莪の花 西尾 康子
- ・ 窯出しは織部の壺や青嵐 清野 光代
- ・ 住む人のなくていくとせ花いばら 清家 眞
- ・ 大輪の薔薇抱きもどる演奏会 森田うた子

次号(9月1日号)は、甲賀町文化協会です。